2026年10月1日発行（隔月1回1日発行）No.1055号

JA全農えひめ情報

みぐりーど

2026 10 Oct. - Nov. 11



特集

令和８年産
温州みかん出荷販売対策

全農 JA全農えひめ



▲温州みかんを中心に、ポンカン、河内晩柑、計160ａを栽培する宇都宮晃仁さん



▲温州みかんの園地。山一つ越えた向こうに宇和海が広がる



▲スプリンクラー、イノシシ対策の柵を施した園地



▲今年の温州みかんは、去年同様にいい出来です！

温州みかんの栽培（西予市明浜町）

海抜１６０ｍの急斜面、宇都宮晃仁さん（31歳）の園地では10月中旬から温州みかんの収穫が始まります。みかん農家出身の宇都宮さんは、父が自分の作ったみかんを家族に食べさせては楽しそうに自慢する姿が誇らしく、「夢はみかん農家！」まっしぐらに成長しました。父の勧めで、静岡県にある国立の果樹研究所興津拠点に入所します。広い見聞、知識の習得を願う親心です。有名産地出身者も多く「明浜」の名が知られていないことにショックを受けたり、スーパーで「明浜みかん」を見つけてうれしかったり。学びの多い充実の2年間を経て、故郷・明浜で就農します。

高い知識は学んだものの、初期経営の見通しは甘く、まさかの物価高騰、イノシシ出没、収穫繁忙期の人件費不足の人員不足と、金銭面のピンチに直面。他業種のアルバイトで帳尻を合わせた辛苦も今では懐かしい思い出となった10年目です。生計は安定し、融通がきく自由な時間は趣味のアニメ鑑賞や、みかん栽培にも通ずるコツコツ一人作業のプラモデル作りを楽しんでいます。今後は、「先輩達が残念ながらも園地を手放す時には、後継者や新規就農者につなげて、地元の宝であるおいしい明浜みかんを絶やさないよう、自分自身を育ててくれた故郷に恩返しをしていきたい」と、宇和海からの潮風香る園地で熱い思いを語ってくれました。

JA全農えひめ情報

あぐり～ど

2026年10－11月号

CONTENTS

農の風景 －応援！農業人－ Vol.254
温州みかんの栽培（西予市明浜町）

2 〈特集〉
令和８年産温州みかん
出荷販売対策

8 トピックス
「2026愛媛みかん大使」
４人を任命！

10 ＪＡ全農えひめグループ７社 令和８年度役員体制

12 ふるさと ESSAY VOL.322
落選市議のサバイバル奮闘記①
地方こそフロンティア
森 裕之さん

14 TOPIC NEWS

20 READERS通信

NOW NOW COOKING
〈今月の素材〉押し麦

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ○営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- ○安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- ○地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



新規就農の若者と、温かく見守るベテランの農家さんと。沈む夕日に照らされた横顔は満足感と達成感にあふれています。この一年間、本当によく頑張りました！のご褒美のおいしい温州みかんがたわわです。心待ちにする人たちの笑顔を思い浮かべながら、もうひと頑張り‼収穫作業は続きます。

●表紙：温州みかん
小林 恵（イラストレーター）

※『あぐり～ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心を一つにする（Agreed）」という意味を込めています。

JA全農えひめ

ホームページ
https://www.zennoh.or.jp/eh/

■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
https://www.zennoh.or.jp/eh/food/
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆㈱えひめ飲料
https://www.ehime-inryo.co.jp

◆JAえひめアイパックス㈱
http://ai-pax.jp/

◆JAえひめフレッシュフーズ㈱
https://fresh-ranran.jp/

◆㈱ひめライス
https://www.himerice.jp/

◆JAえひめエネルギー㈱
https://www.ja-ehimeene.co.jp

◆JAえひめ物流㈱
https://www.jat-ehime.co.jp/

特集

令和8年産温州みかん 出荷販売対策

（園芸農産部　園芸販売課）



日園連調査の生産予想量（8月1日時点）は、63万5、600トン（前年比97％、前々年比115％）となっており、静岡・和歌山は表年傾向、九州産地は裏年傾向となっています。露地みかんの品種別では極早生9万8、900トン（前年比97％）、早生26万7、000トン（前年比95％）、普通25万6、000トン（前年比99％）。愛媛県の露地みかんは10万1、800トン（前年比84％、前々年比134％）となっており、裏年廻りのため前年を下回る予想となっていますが、カメムシ被害・鳥獣害により減収となった一昨年産を大幅に上回る予想量となっています。

今後も、引き続き隔年結果の是正に向けた適正着果対策を徹底し、高品質果実生産対策に取り組むことが重要です。

本県の露地みかんの作柄について、着花量は裏年の巡りとなりますが、通常の裏年に比べると着花量は多く、新梢も確保されている園地が多く見られました。5月中旬～下旬の高温により、一次生理落果はかなり多く、果実肥大は、梅雨明け以降の7月下旬から8月下旬までの高温乾燥により小玉傾向となっています。9月上旬の降雨により、乾燥状態は

解消されました。

極早生みかんの生産量は、前年を下回る予想となっています。早生みかん以降の販売を有利に展開するためにも、今後の栽培管理の徹底により、10月末終了時期の徹底に努めていきます。

早生以降についても、生産量は前年を下回る予想ですが、昨年は玉肥大も良く、一昨年多かったカメムシ被害や鳥獣害も少なかったこと、系統への出荷量も多く、計画を上回る出荷実績となったことから、正確な出荷計画の策定と市場別の販売動向を把握した出荷に努めるとともに、気象災害等により数量が減少する場合は迅速な産地情報の発信が重要です。



また、高品質果実の出荷を基本に、市場価格の維持を目的とした果実需給調整対策事業、及び一般消費者を対象とした消費宣伝事業を有効活用し、価格維持及び有利販売につながる販売対策が必要です。

販売具体策

選果・選別基準の遵守と出荷予措の徹底や市場ごとに残荷量・未仕切等の販売状況を加味した出荷量を調整します。精度の高い出荷計画の策定と遵守及び産地状況の迅速な情報発信を行います。県域の価格維持対策として、下等級品の市場隔離を図るため、加工誘導対策事業を実施するとともに有効活用します。品種の品質特性を踏まえた適期出荷を徹底します。また、選果場ごとの出荷状況を的確に把握するとともに、日量出荷量の平準化の徹底を図り、市場出荷残量を踏まえた計画的な出荷を行います。

(1) 極早生みかん

極早生の販売は10月末終了を徹底します。

(2) 早生みかん

近年の温暖化により、正品果率の低下が懸念されることから、終盤については特に果実品質を見極めながら出荷を行います。

(3) 普通温州みかん

年末の最需要期に切らさないように、販売状況を加味した上で計画出荷を行います。年末年始に休業する店舗が増えている中、流通在庫増による品質低下を防ぐためにも、無理な押し込みは行わず、年明け販売も見据えた出荷を行います。

〈階級基準〉

出荷階級は２L～S級とします。

※ただし、極大果・極小果については下記の品質基準を遵守し、流通関係者と協議を行った上での出荷とします。

〈緊急時の対策〉

市場価格の急落が懸念され、かつ市場在庫が増加傾向にある場合は、果実販売部会・販売情勢検討会等で協議し、出荷調整並びに販売促進等の緊急対策を実施します。

〈品質基準〉（選果時の測定値）※全国連の品質基準に準ずる

出荷時期	糖　　度	酸　　度
9月	9.0度以上	1.0％以下
10月	10.0度以上	1.0％以下
11月以降	11.0度以上	0.9％以下

※ただし、酸度は0.6％を下回らないものとする。

消費宣伝計画

昨年に引き続き、愛媛県産かんきつの販促においては、知識に習熟したＳＰレディによる販促活動を基軸とした消費宣伝を実施します。さらには、ＳＰレディの研修会を実施することで、愛媛県産かんきつに対する知識をさらに深め、消費者へ試食等を通じて果実の美味しさをＰＲすることで、消費の拡大を図ります。また、愛媛県とのＰＲ事業と連携し、県下一体となり県産果実の販売強化に取り組んでいきます。



▲POPやポスター、のぼりで飾り付けるだけでなく、デジタルサイネージを活用して売り場を演出



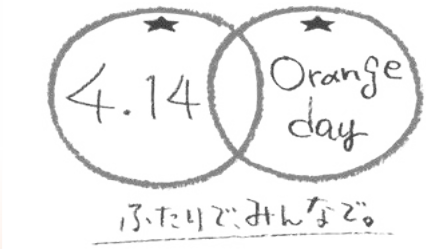
愛媛みかん大使による消費宣伝・みかんキャンペーンについては、首都圏・近畿圏において効果的な活動を計画・実施することで愛媛みかんの消費拡大を図ります。また、幼稚園児及び保護者を対象とした「はじめてのみかんむき企画」等の食育活動を実施し、子供たちが幼少期からみかんを食する機会・環境を提供することで、将来に向けたみかんファンの獲得を図ります。





●全国果実生産出荷安定協議会

全国段階における消費拡大対策事業は、果物の摂取量が少ない若年層を中心に「毎日くだもの２００グラム運動」を推進するとともに、果物摂取の重要性と国産果実の旬やおいしさを訴求し、ＳＮＳ等を活用した国産果実各品目の旬の告知や消費拡大に係るイベント実施等の情報発信に努め、全国の果樹産地が一体となった活動を行うことで、引き続き国産果実全体の需要拡大を図ります。



4月14日は「オレンジデー」です。





▲オレンジデーイベントの様子

●えひめ愛フード推進機構

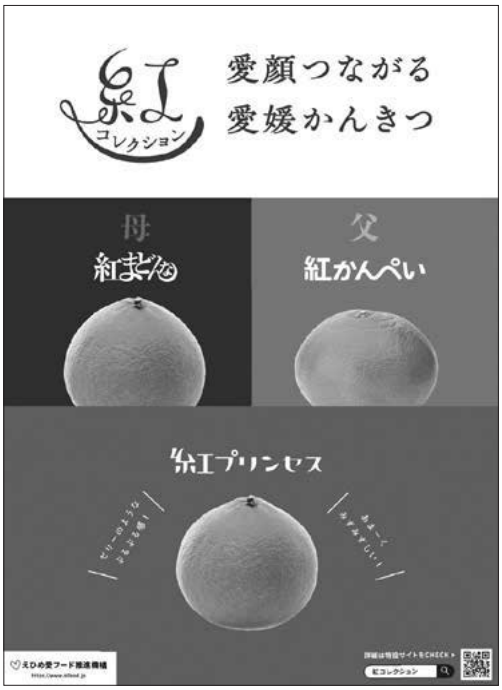
消費者に「オレンジデー」、「オレンジロード」の認知度向上を図るとともに、愛媛県産かんきつ全体のＰＲ及び消費拡大を図るため、効果的なイベントを計画・実施します。

●愛媛県連携事業

県オリジナル品種である「紅まどんな」、「紅かんぺい（甘平）」、「紅プリンセス」を『紅コレクション』と命名し、つながりを意識した一体的なプロモーションを展開することで、ブランド力強化を図ります。

●店頭販売促進活動

愛媛みかんの売り場確保・販売数量・売り上げアップを図るため、店舗の状況にあった販促を実施し、宣伝資材等を活用しながら、より多くの消費者に愛媛みかんのＰＲを行います。



▲「紅コレクション」ポスター
（提供：愛媛のかんきつ21推進協議会）



▲ポップなどの宣伝資材を活用した愛媛みかんの売り場

●愛媛みかん大使による消費宣伝

今年で68代目となる、愛媛みかん（いよかん）大使を任命し、県内外でのキャンペーン等を通じて愛媛県産果実の消費拡大ＰＲを実施します。また、みかんキャンペーンでは消費地に大使を派遣し、各種イベントへの参加、メディア等を巡回訪問することで対外的なＰＲ活動の実施や、イベントの記事掲載等を通じた消費宣伝の相乗効果を図ります。





▲消費地を訪問し、愛媛みかんのシーズン到来をアピール

●食育活動事業

今年で23回目を迎える、幼稚園・保護者等からも好評の「はじめてのみかんむき」企画を実施します。幼稚園児にみかんを自分でむく行為の啓蒙活動を行い、その保護者にもリーフレット等を配布することにより、健康情報の提供や幼稚園児の健やかな発育には果物が重要な役割を果たすことをアピールします。そして幼児期より日常生活の中でかんきつ類を食べることの習慣付けを行い、旬のおいしい「愛媛みかん」を印象付けて広範囲での消費拡大を図るとともに、愛媛県産かんきつ全体のＰＲを実施します。



▲はじめてのみかんむき

●ＳＰレディ組織強化事業

愛媛県産かんきつの効果的な店頭での販促活動を行うために、ＳＰレディの組織強化を図ります。研修会では、本年産かんきつ類の生育状況・作柄等の説明会を実施し、産地状況等の把握をしてもらい、産地と一体感をもって販売できる協力体制を強化します。

「2026愛媛みかん大使」４人を任命！

～これから愛媛県産かんきつをPRしていきます～



▶（写真右から）近藤さん、玉田さん、常国さん、大堀さん

ＪＡ全農えひめは、８月26日、ＪＡ愛媛で、愛媛みかん・伊予柑など愛媛県産かんきつをＰＲする、『２０２６愛媛みかん大使』の任命式を行いました。

２０２６愛媛みかん大使に任命されたのは、近藤美咲さん（四国中央市出身・大学生）、玉田麻伊さん（今治市出身・団体職員）、常国沙愛さん（松山市出身・大学生）、大堀愛李那さん（松山市出身・団体職員）の４人。愛媛みかん大使による活動は、１９５９年度から始めており、今年度の大使は68代目。今回は68人の応募の中から、書類と面接による審査を経て大使４人が選ばれました。

任命式では、ＪＡ全農えひめの吉見一弥運営委員会会長が４人に任命状を渡し、「高品質なかんきつ生産のため、生産者は猛暑の中、必死で作業している。こうした思いを胸に活動してほしい」と激励しました。前年度の大使からタスキを受け継いだ４人は、「生産者の方々の熱い思いをこれからもっと多くの方々に知っていただきたいです。愛媛のかんきつのおいしさを全国へとつなぐ懸け橋となれるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします」と笑顔で抱負を話しました。

大使４人は、温州みかんの本格出荷が始まる11月より各種イベントやメディアへの出演などを通じて、来年８月末までの１年間、愛媛県産かんきつをＰＲします。

私たちが「2026愛媛みかん大使」です！

愛媛県産かんきつの魅力を全国にPRします！　応援よろしくお願いします！



近藤（こんどう）　美咲（みさき）さん

（四国中央市出身・大学生）

【趣味】よさこい、マラソン
【特技】継続力、積極性

【抱負】2026愛媛みかん大使に任命していただきました。歴史あるみかん大使に任命して頂き、これから１年間大好きな愛媛の柑橘をPRできること、大変嬉しく思います。生産者の方々の柑橘に対する温かい思いと自慢のおいしさを、１人でも多くの方々に知って頂けるよう精一杯PRして参ります。１年間よろしくお願いいたします。



玉田（たまだ）　麻伊（まい）さん

（今治市出身・団体職員）

【趣味】旅行、美容
【特技】体を動かすこと、スイーツづくり

【抱負】2026愛媛みかん大使に任命していただき、大変嬉しく光栄に思います。愛媛への感謝の気持ちを忘れず、柑橘の美味しさや、生産者の柑橘に対する愛情、豊かな自然などの魅力をお届けできるよう、精一杯活動して参ります！１年間よろしくお願いいたします。



常国（つねくに）　沙愛（さら）さん

（松山市出身・大学生）

【趣味】K-POP鑑賞、お菓子作り、美容、韓国語・英語の勉強
【特技】剣道、コミュニケーション

【抱負】愛媛みかん大使に就任することができ、とても嬉しく思います。
活動を通して、これまで身近だった愛媛みかんの新たな魅力を見つけ、生産者の皆様のこだわりや思いとともに、私自身の言葉で伝えていきたいです。
１年間よろしくお願いいたします！



大堀愛李那（おおほりありな）さん

（松山市出身・団体職員）

【趣味】食べ飲み放題、ボウリング
【特技】マラソン、ダンスのアイソレーション

【抱負】2026愛媛みかん大使に任命していただき、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。
「かんきつ王国」愛媛県で、愛情込めて育てられた「かんきつの魅力」をたくさんの方にお伝えし、１人でも多くのファンを増やせるよう尽力いたします。
１年間よろしくお願いいたします！



▲８月26日に行われた任命式。ＪＡ全農えひめ吉見一弥運営委員会会長（中央左）と武田孝二県本部長（中央右）を囲んで

♡♠♣◆♡ 今後の予定 ♡♠♣◆♡

10月14日　**愛媛県園芸大会**（松山）

11月上旬　**愛媛みかん消費宣伝キャンペーン**
（首都圏・関西圏等）

１月16日～17日　**えひめみかん祭り**（松山）

１月下旬　**愛媛いよかん大使消費宣伝キャンペーン**
（首都圏・京阪神等）

11月～４月14日　**オレンジデー関連イベント**
（東京・松山等）

2027年８月末まで各種イベントや販促活動、マスメディアへの出演等を行っていきます。

ＪＡ全農えひめグループ７社　令和８年度役員体制

は令和８年度新任。

令和８年６月30日現在

㈱えひめ飲料

役職名	氏　名	
代表取締役社長	芝　亮介	常勤
代表取締役専務	氏原　教次	常勤
取締役常務	松浦　勇人	常勤
取締役管理本部長	東　誠広	使用人兼務役員
取締役製造本部長	宇野　健二	使用人兼務役員
取締役	桑田　誠	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡおちいまばり
取締役	林　博	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員会副会長 ＪＡえひめ中央
取締役	井田　敏勝	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡにしうわ
取締役	吉見　一弥	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員会会長 ＪＡえひめ南
取締役	武田　孝二	非常勤・ＪＡ全農えひめ県本部長
常勤監査役	塩﨑　洋章	常勤
監査役	田淵　博幸	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ愛媛たいき

ＪＡえひめアイパックス㈱

役職名	氏　名	
代表取締役社長	井上　寛	常勤
専務取締役	嶋田　浩志	常勤
常務取締役	猪股　徹	常勤
取締役食肉事業本部長	三瀬　健二	使用人兼務役員
取締役	檜垣　純二	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ周桑
取締役	桑田　誠	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡおちいまばり
取締役	田淵　博幸	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ愛媛たいき
取締役	武田　孝二	非常勤・ＪＡ全農えひめ県本部長
監査役	石野　満章	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡひがしうわ
監査役	本田　庄三	非常勤・ＪＡ全農監査主任者

ＪＡえひめフレッシュフーズ㈱

役職名	氏　名	
代表取締役社長	矢野　貴之	常勤
常務取締役	堀岡　茂	常勤
取締役	合田　久	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡうま
取締役	岡部　成彦	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡえひめ未来
取締役	石丸　保博	非常勤・ＪＡ全農えひめ副本部長
監査役	石野　満章	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡひがしうわ
監査役	平岡　正樹	非常勤・ＪＡ全農監査主任者

㈱ひめライス

役職名	氏　名	
代表取締役社長	武田　司	常勤
常務取締役	中山　祐二	常勤
取締役	檜垣　純二	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ周桑
取締役	林　博	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員会副会長 ＪＡえひめ中央
取締役	石野　満章	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡひがしうわ
取締役	石丸　保博	非常勤・ＪＡ全農えひめ副本部長
監査役	田淵　博幸	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ愛媛たいき
監査役	本田　庄三	非常勤・ＪＡ全農監査主任者

ＪＡえひめエネルギー㈱

役職名	氏　名	
代表取締役社長	得能　祐治	常勤
常務取締役	菅　文郎	常勤
取締役管理部長	長尾　充博	使用人兼務役員
取締役	合田　久	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡうま
取締役	林　博	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員会副会長 ＪＡえひめ中央
取締役	阿部　和孝	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ松山市
取締役	松本　亮治	非常勤・ＪＡ全農えひめ副本部長
監査役	平岡　正樹	非常勤・ＪＡ全農監査主任者

㈱えひめフーズ

役職名	氏　名	
代表取締役社長	長山　峰久	常勤
取締役製造部長	宇都宮雅博	使用人兼務役員
取締役	井田　敏勝	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡにしうわ
取締役	芝　亮介	非常勤・㈱えひめ飲料代表取締役社長
取締役	武田　孝二	非常勤・ＪＡ全農えひめ県本部長
監査役	塩﨑　洋章	非常勤・㈱えひめ飲料

ＪＡえひめ物流㈱

役職名	氏　名	
代表取締役社長	中矢　琢	常勤
常務取締役	矢野　喜好	常勤
取締役	桑田　誠	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡおちいまばり
取締役	林　博	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員会副会長 ＪＡえひめ中央
取締役	田淵　博幸	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡ愛媛たいき
取締役	井田　敏勝	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員 ＪＡにしうわ
取締役	吉見　一弥	非常勤・ＪＡ全農えひめ運営委員会会長 ＪＡえひめ南
取締役	寺尾　則雄	非常勤・ＪＡ東予園芸
取締役	松本　亮治	非常勤・ＪＡ全農えひめ副本部長
監査役	芝　亮介	非常勤・㈱えひめ飲料代表取締役社長
監査役	平岡　正樹	非常勤・ＪＡ全農監査主任者

MENU

自然のおいしさお届けします

牧場の風セット

みんなで鉄・カルシウムヨーグルト
2パック(70g×3)
8020ヨーグルト
2個(110g)
8020のむヨーグルト
2本(110㎖)
リッチ&クリーミーヨーグルト
2個(400g)
メイファーム牛乳と卵のプリン
1パック(70g×4)

組合員価格 ¥3,300(税込)



らくれん セレクションセット

スタミン
1袋(65㎖×10)
メイファーム生乳100%プレーンヨーグルト
1個(400g)
メイファーム生乳ヨーグルト
2パック(70g×3)
メイファーム牛乳と卵のプリン
3個(100g)
アイミー
2本(110㎖)

組合員価格 ¥2,700(税込)



8020 ヨーグルトセット

8020ヨーグルト
9個(110g)
8020のむヨーグルト
10本(110㎖)

組合員価格 ¥3,200(税込)



■登載の商品は印刷の再現上、現品と色/柄などが若干異なる場合がございます。

令和8年度 JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動　JAグループ愛媛

Hometown Essay

ふるさとEssAy

Vol.322

落選市議のサバイバル奮闘記①
地方こそフロンティア

森　裕之
HIROYUKI　MORI

平成27年春、私は人生の岐路に立っていた。横浜市議選に再挑戦したものの政局に翻弄されて次点となり、このまま政界で生きていくのか、それとも浮き沈みの激しい世界から足を洗って別の道を進んでいくのか、自問自答していたからだ。

選挙のたびに政党を乗り換え、各級選挙への出馬を繰り返すような「政界渡り鳥」的な生き方は、したくなかった。時代の変化に揺るがず、いつでもどこでも生きていける力を身につけていきたい。自分のフロンティアを見つけて大地に根ざして生きていきたい。新天地での農的な暮らしへの憧れと希望を周囲に静かに語っていた。

「東温市へ行ってみないか?」

父と酒を酌み交わしながらの何気ない対話のなかで投げかけられた、この一言に突き動かされて、2週間の愛媛旅へと出かけた。東温市は父のふるさとであり、子どもの頃に何度か遊びに訪れたまち。滞在中、東温市役所に飛び込み、仕事と住まいを中心に移住相談を重ねて「集落支援員」という仕事を知った。当時の東温市は地域おこし協力隊の導入を検討していた時代であり、支援員に求められていたのは市内の全地区をまわり、地域の人たちの声を聴き取りながら、未来のまちづくりの基礎をつくる役割だった。

行政も自分も、初めての試みに挑戦する集落支援の仕事に心が躍った。もちろん、収入面などの不安もあったが、まさに「捨てる神あれば拾う神あり」。同年夏、長年住み慣れた横浜市を離れて東温市へ移住。市役所の非常勤特別職として初の集落支援員を務めた。こ

■プロフィール■
1970年（昭和45年）神奈川県生まれ。横浜市で育つ。拓殖大学・大学院で国際協力を学ぶ。学生時代はインドネシアの島々を放浪。東南アジアで地域づくり、植林活動、平和構築などに取り組む。大学院修了後、衆議院議員公設秘書を経て、横浜市会議員を２期務める。
2015年、農のある暮らしを求めて東温市に移住。初の集落支援員を務める。
2017年、愛南町初の地域おこし協力隊として着任。多様な得意技を持つ達人たちから経験・知恵を学び、愛南の海賊（自由人）をめざす。
現在、ゲストハウス「カイタク舎」代表。愛南町移住支援コーディネーター。猟師。南宇和猟友会役員、企業組合「愛南ジビエ」監事。その他、地域活動に奮闘中！



▲愛南町の豊かな自然と食を全力で楽しもう！　ゲストハウス「カイタク舎」は１日１組限定の古民家宿



▲愛南町に移住し、狩猟免許を取得した森裕之さん。農作物を荒らすシカやイノシシを、ジビエ料理など地域の宝に変えようと試行錯誤を繰り返している

の間、中山間地の振興モデル地区での地域おこし協力隊の受入や地域運営組織の設立支援等に関わり、支援員として一定の成果を上げることができた。

次年度を迎え、新たな展開を模索していたとき、「愛南町・緑地域で初めて地域おこし協力隊を受け入れるので、これまでの経験談を語ってほしい」と愛媛県からの依頼があり、講師として勉強会に招かれた。これがきっかけで愛南町の人々と運命的に出会い、「顔の見える交流」が始まった。人の温かさと海・山・清流がすぐそこにある豊かな自然に魅せられ、惹かれていくうちに、「ぜひ我が町に来て！」と熱烈なスカウトを受けて、平成29年春に愛南町初の協力隊員として再移住することになった。振り返ると無謀だが、これが人生の面白さ。年齢を重ねてもルーキーでいられるって素晴らしいことだと思う。

愛南町では、今も暮らす里山エリアにある緑地域を本拠に、ゼロからの再スタート。地域づくり団体「まるごと緑」のメンバーとともに、まずはできることから取り組もうと創造的で持続可能な「稼ぐ地域づくり」を旗印に掲げ、①ネットワークづくり、②仕事づくり、③人づくりを柱に地域協力活動に奮闘した。３年の任期満了後、これらの活動を発展させた地域創生プロジェクトが企業組合「愛南ジビエ」であり、次号で詳しくご紹介する「カイタク舎」である。

カイタク舎は、地域の人たちの協力を得て、築50年以上の空き家を改修して整備した体験型の小さな宿（農林漁家民宿）。「旅は最高の学び」をコンセプトに、少人数向けの研修、修学旅行、スタディツアーなどの受入も行っている。一方で、宿泊を提供するだけでなく、地域の魅力や暮らしの価値を世界に伝えるためのローカルメディアのような存在でありたいとも考えている。次回は、カイタク舎はどんな宿泊施設なのか？　何をめざしているのか？　など、さらに深掘りして「開拓最前線」での実践と挑戦をお伝えしたい。

JA農機大展示会

JAおちいまばり・今治立花合同開催
JA周桑と協賛開催で実施！

全農・愛媛農機事務所は、7月17・18日はJAおちいまばり・おちいまばり共選場にて、JAおちいまばり・JA今治立花との合同開催。7月24・25日はJA周桑カントリーエレベーターにて、JA周桑への協賛でJA農機大展示会を開催しました。

この展示会は最寄りのJA管内で行うことで、生産者の来場促進を図り、省力化、効率化を目的に実施しており、トラクターやコンバイン、田植機、草刈機、セット動噴、潅水ポンプなど最新農業機械などを展示しました。

また、その他にもオートパルの自動車展示や、うどんや、そうめんの炊き出し、ドローン相談会、鳥獣害防止相談会、せり市なども行われ、多数の来場者でにぎわいました。

尚、10・11月には全農・愛媛農機事務所と㈱ISEKI・JAPAN中四国カンパニーの共同開催による農機大展示会が行われます。

ISEKI南予合展
10月23日(金)～24日(土)
場所：中四国カンパニー宇和島営業所（鬼北町）

ISEKI中予合展
11月13日(金)～14日(土)
場所：伊予カントリーエレベーター（松前町）

ISEKI東予合展
11月20日(金)～21日(土)
場所：中四国カンパニー西条営業所（西条市）


同展示会でのせり市


7月24・25日の展示会

県内初、第1回JAグループ直売所担当者会議

直売所間連携を強化し、課題・対応策を共有！

JA全農えひめが主催し、7月23日、JA愛媛で初となる第1回JAグループ直売所担当者会議が行われました。この会議には県内直売所の店長他、各JAの担当課長、JA愛媛中央会、全農本所、JA全農ふくれんなど約20名が参加しました。

まず初めにJA全農えひめ生活部長より、この会議の目的、直売所を取り巻く環境変化、経営課題（出荷会員の高齢化、運営コストの上昇、消費者ニーズの多様化）、議論すべきポイントについて説明がありました。

次に全農本所・直売所支援課担当者より、直売所支援課の役割、全国の良い店舗の事例紹介がされたあと、課題解決についての取り組み提案がありました。

①スポットワーカーの活用
②電話対応効率化（自動音声メッセージ）
③万引き対策（AIカメラ）
④店内放送（JAチャンネル）
⑤Google MEOによる集客
⑥POS・システム（業務効率化・分析）
⑦カスハラ教育・対策
⑧固定客確保の取り組み
⑨食品表示チェック講習会

説明後、参加者から多くの質問があり、活発な意見交換が行われました。

その他、JA全農ふくれん担当者より、空陸一貫輸送について、全農・愛媛生活推進課より、業務用電力削減機器の実証結果を踏まえた導入提案、JA愛媛中央会より、10月～11月末までの「国消国産」キャンペーンの説明などもあり、各直売所が抱える課題解決に向けた、非常に建設的な議論が行われました。

今後もJAグループ愛媛の直売所が共に成長していく機会として、年1回の開催を計画しています。



愛媛県民間流通地方連絡協議会

県産麦の品質向上・安定生産にむけて

JA全農えひめ米穀課は、8月5日、JA愛媛ビルで愛媛県産麦の円滑な流通をめざし、愛媛県民間流通地方連絡協議会を開催しました。

会議には、精麦や製粉、醤油・味噌関連の実需者16人・生産者・JA・県関係者ら40人が出席。愛媛県産はだか麦、小麦の安定した収量確保・品質向上・異物混入防止、生産者所得の向上を図るための取り組み方針や契約に係わる単収の考え方などについて協議しました。

39年連続生産量日本一を誇る愛媛県産はだか麦の令和9年産販売（生産）予定数量は、5、256トン。対して実需者から報告のあった購入希望数量は6、880トン。

令和9年産小麦については、販売予定数量795トン。購入希望数量は1、010トンとなっています。

今後、更なる愛媛県産麦の需給改善と安定供給に向けて、実需者・JAグループ・行政等の関係機関が連携して取り組んでいくことを確認しました。



挨拶をする武田県本部長

「いよっこら」親子農業体験ツアー

親子でだいこんやぶどうの収穫体験

JAえひめアイパックス㈱ファーマーズマーケット「いよっこら」運営協力会は8月22日、食農教育活動の一環で、内子町、西予市野村町大野ヶ原、久万高原町を回る「いよっこら親子農業体験ツアー」を開きました。

収穫体験などを通じて農業や食の大切さ、地元農産物のおいしさや魅力を伝えようと毎年開催し、伊予市近郊の小学生以下の親子8組18人が参加しました。

標高1、000mを超える四国カルストの西予市大野ヶ原の黒河尚紀さんの畑では、だいこんを収穫。黒河さんから栽培状況や「だいこんが折れないように真っすぐ上の方へ抜いて」との助言を受け、子供たちは力を込めて引き抜きました。参加した小学生・保護者からは「こんな大きいだいこんは初めてで、けっこう重かったけど抜けた時は嬉しかった」「実際に生産者さんとふれあう事や大根も収穫出来て貴重な体験になりました」など、笑顔を見せていました。また、ミルク園でのソフトクリームや、ぶどう狩りも楽しみました。


だいこんとったぞ～


みんなで記念撮影

「まつやま盆フェス2026」
8月14日～16日に開催されました！

松山市城山公園で、8月14日～16日の3日間、「まつやま盆フェス2026」が開催されました。

このイベントは、「世代や国境を超えて、自由と平和のもとにつながり、未来へと受け継ぐ松山の新たな文化を創造する」という基本理念のもと、まつやま盆フェス実行委員会が昨年から開催しており、今年で2年目となります。

城山公園特設会場の中心に、県内最大級規模となるタテ・ヨコ約9mの巨大やぐらが設置され、餅まき、モデリコ（お手本として盆踊りを踊る出演者）と盆踊り、シャボン玉アート、キャンドルナイト、飲食テント、キッチンカー、カラオケ大会、バルーンリリースなど盛りだくさんの内容で盛り上がりを魅せました。

その他にも14日には、テレビ愛媛で19時～20時の生放送もありました。また、15日には「2025愛媛みかん大使」による「愛媛のかんきつ旬！旬！音頭」披露も行われました。

JA全農えひめはこのイベントに協賛し、餅まき用のもち米の提供、餅まきの当たり10名の方に、塩と愛媛のかんきつ（490㎖×24本入り）をプレゼントしました。

まつやま盆フェス実行委員会によりますと、3日間で約35、000人の来場だったとのことです。



「愛媛のかんきつ旬！旬！音頭」を踊る2025愛媛みかん大使



餅まきに参加した、武田県本部長（舞台右から２人目）

JAえひめエネルギー㈱と今治市が連携協定を締結
災害時、コインランドリーを無料提供

JAえひめエネルギー㈱と今治市は8月18日、南海トラフなど大規模災害で避難生活が続く場合に備え、洗濯支援など無料でコインランドリーを利用出来るよう、連携協定を締結しました。同社が自治体と同協定を結ぶのは初となります。

具体的には、災害発生時の避難者が同社の今治営業所（今治市五十嵐）のふわふわランドリーに設置された洗濯機や乾燥機を無料で利用出来ます。また、コインランドリーに設置されているLPガスの供給と合わせ、非常用ガス発電機、炊飯器、大鍋、コンロも活用できるようにします。

同社の得能祐治社長は、地域に根差したJAグループの事業内容を踏まえ「全国で甚大な自然災害が発生しています。もしもの備えとして、洗濯支援など協力出来ればと思っています」と挨拶しました。徳永繁樹今治市長は、「災害時の洗濯支援に関する連携は市として初めてとなります。実行性のある協定にしたいと思っております」と話していました。

同コインランドリーには、家族4人の約1週間分の衣類を1回で洗濯出来る大型の洗濯乾燥機など、合わせて12台が設置されています。



協定書に署名した徳永繁樹今治市長（左）と
ＪＡえひめエネルギーの得能祐治社長（右）

愛媛県畜産振興連絡協議会

生産農家の所得向上と経営安定を図る！

愛媛県畜産振興連絡協議会は、8月25日にJA愛媛で、令和8年度総会を開き、各協議会の代表者、JA関係者、畜産関連団体の代表者など35名が参加しました。

総会では、令和7年度事業報告並びに収支決算報告、また、令和8年度事業計画案、並びに収支予算案について協議し、全議案が決議されました。

令和8年度事業計画では、

①将来の畜産業に希望が持てる体制を構築するとともに、本県の生産振興に寄与する。

②防疫・衛生管理の徹底により、安全・安心な畜産物を安定的に供給する。

③環境・糞尿処理、衛生対策を具備し、地域社会と調和のとれた畜産経営を目指す。

④所得経営安定交付金制度への参加促進に努める。

⑤本県農業の存立の見地から、持続可能な農業を実現させる活動を関係団体と連携して積極的に取り組む。

などの方針が示されました。

また、役員改選も行われ、会長にはJA愛媛養豚経営者協議会の森田恭章さん、副会長には愛媛県肉牛生産者協議会の池田一成さん他が選任されました。



FM愛媛夏休み「親子料理教室」開催！

愛媛県産のピーマン、伊予なすを使った料理に挑戦！

8月28日、JAえひめ中央「みなとまち　まってる」の「JA Kitchen Studio」にて、親子25名、11組が参加し、FM愛媛「親子料理教室」が開催されました。

このイベントはJA全農えひめがFM愛媛で協賛している「JA全農えひめpresentsパパイズムの食イズム」の企画として毎年、年2回、夏休みと春休みに行われています。親子で料理の楽しさを知ってもらう事を目的に、FM愛媛が募集し、18組54名の応募から抽選で選ばれた親子が参加しました。

同番組でおなじみのパパイズムさんとヒカルさんの進行のもと、今回のためにパパイズムさんが考案したレシピ、「サルシッチャピーマン」、「なすの扇カツ」に挑戦。参加した親子からは「子供たちにはピーマン、なすと言わないで参加しましたが、自分たちで作ったので、チャレンジしてみようと思ったみたいで食べられて嬉しかったです」「お母さんからは何の料理か聞いてなかったけど、作って食べたら美味しかった」など笑顔を見せていました。

尚、午前の部はピーマンの生産者JA松山市の小倉重生さん、午後の部は伊予なすの生産者JAえひめ中央の田中靖興さん、阿部康史さん、二木洋一郎さんに来ていただき、ピーマン、なすが出来るまで、育て方で気を付けている事、食べ方などについて説明がありました。

この模様はFM愛媛、9月3日12：05～「JA全農えひめpresentsパパイズムの食イズム」で放送されました。


パパイズムさんと一緒に包丁に挑戦


みんなで記念撮影

JAおちいまばりと意見交換会

生産者とのつながりを、そして1円でも高く売る！

8月27日JA愛媛にて、JAおちいまばりとJA全農えひめの意見交換会が行われました。この意見交換会は、㈱えひめ飲料、段ボール工場の視察研修の後行われたもので、JAおちいまばりからは、桑田会長、渡部理事長他関係者37名、JA全農えひめからは、武田県本部長、石丸、松本両副本部長、各部部長・専任部長ら9名が参加しました。

開会あいさつの後、石丸副本部長よりJA全農えひめの取扱高や役割、各事業部の取り組みやグループ会社の概要について説明があり、松本副本部長からは「2030年のあるべき姿」の実現に向けての各課の取り組みについて説明がありました。

その後の意見交換会では、同JAより、米や肥料・農薬の動向について、愛媛青果物広域選果場の現状について質問があり、JA全農えひめ各担当部長・専任部長から現状報告、現在の進捗状況、今後の対応などの見解を回答いたしました。



㈱えひめ飲料が新田高等学校野球部に贈呈

がんばれ球児！POMポンジュースを差し入れ激励

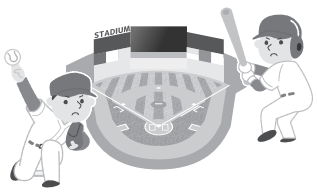
㈱えひめ飲料は、8月5日に開幕した第108回全国高等学校野球選手権大会に愛媛県代表として出場した新田高等学校野球部宿泊先のホテルに、同社大阪営業所がジュース14ケースを持参しました。

贈呈したのは、「POMポンジュース」（200ミリリットル紙パック12本入）8ケース、「POM塩と夏みかん」（490ミリリットルペットボトル24本入）6ケース。

同社は、春の選抜高校野球大会と夏の全国高校野球、愛媛代表の甲子園出場校にジュースを送り、地元代表の球児を毎年応援しています！



POM ポンジュースとPOM 塩と夏みかん



㈱えひめ飲料が松山東交通安全協会にジュース贈呈

交通安全活動に「POM みきゃんジュース」を贈呈

㈱えひめ飲料は、秋の全国交通安全運動（9月21日から9月30日まで）の啓発活動に役立ててもらおうと、9月1日、「POM みきゃんジュース」（165ミリリットル紙パック）1、008パックを松山東交通安全協会に贈りました。

贈呈商品は、交通安全運動期間中に、松山東警察署管内で実施される「交通茶屋」や「高齢者教室」などの各種イベントで配布されます。

松山市の同社本社で行われた贈呈式で、同社の芝社長は、「残暑が厳しいですが、色々な場面で役立ててください」と話しました。また、同協会の岡田紀夫副会長は「交通安全運動で活用させていただきます」と謝辞を述べました。

同社によるPOM製品の贈呈は、社会貢献活動の一環として2010年から毎年実施しています。



岡田紀夫副会長（右から2人目）に商品を贈呈する芝社長（左から2人目）

JAグループ愛媛担い手サポートセンター

新規就農相談会に参加

JAグループ愛媛担い手サポートセンターは、毎年、担い手確保に向けて、新規就農相談会に参加し、JAをサポートしています。

「マイナビ農林水産FEST」の7月4日（東京）はJAえひめ中央・JAにしうわ・JAえひめ南が、9月5日（大阪）は、JAおちいまばり・JA松山市・JAえひめ中央が参加しました。

また、「新・農業人フェア」へは、9月13日（大阪）に、JAおちいまばり・JAにしうわ・JAえひめ南が、9月23日（東京）は、JAおちいまばり・JAえひめ中央・JAにしうわが参加しました。

10月3日は「松山就農フェス」が行われ、JAおちいまばり・JA松山市・JAえひめ中央・JA愛媛たいき・JAにしうわ・JAひがしうわが参加しました。

今後の予定ですが、11月15日「新・農業人フェア」（東京）はJAおちいまばり・JAえひめ中央・JAにしうわが参加予定で、農業研修ブースにて、愛媛県での就農に対する相談を受けます。

11月28日～29日には「愛媛県就農体験ツアー」が開催されます。WEB広告で募集し、最大10名が参加予定で、JAえひめ中央・JAえひめ南管内の産地を巡り、野菜や柑橘の収穫体験・先輩農家との意見交換・就農に関する相談会を実施し、愛媛農業を感じてもらいます。

県中央会・県信連・県共済連・JA全農えひめの4連で構成する「JAグループ愛媛担い手サポートセンター」として新規担い手確保に向けて、県内JAおよび県内行政等の各関連機関と連携しながら、引き続きサポートしていきます。



9月13日（大阪）での相談会

愛媛さといも広域選果場

令和8年産さといも「伊予美人」出荷スタート

9月11日、JAうま管内の四国中央市寒川町にある西原寿克さんのほ場で、「伊予美人」の収穫作業が行われました。当日はJA全農えひめのプレスリリースにより、県内報道機関5社の取材を受け、県内ニュースで報道されました。

また、愛媛さといも広域選果場でも、同日から本格的に、今年産のさといも「伊予美人」の選果・出荷が始まりました。

今年産は早い梅雨明けによる夏の高温・干ばつがさといもの肥大に影響する懸念があったものの、丁寧な水管理など生産者の努力により、平年並みの作柄が見込まれます。

令和8年産はJA全農えひめ取り扱いで栽培面積186・6ha（前年比92％）、出荷量は4、054t（前年比92％）を見込んでいます。最盛期は12月頃で5月中旬まで出荷を予定しており、地元・京阪神市場を中心に出荷します。



取材を受ける西原寿克さん



今年産さといも「伊予美人」初選果の様子

種苗法改正

「愛媛果試第28号」などの育成者権存続期間が延長されました。

種苗法の改正により、令和8年7月24日から育成者権の存続期間が延長されました。存続期間は「品種登録の日から35年（永年性植物については、40年）」となります。

今回の改正では、品種に係る育成者権をさらに強化し、海外への流出を防止することが大きな柱となっています。改正内容のうち「育成者権の存続の延長」及び「植物新品種の流出防止対策の強化における外国からの登録品種の種苗等の逆輸入の制限」については、公布日である令和8年7月24日から施行されています。

※詳しくは、「農林水産省・品種登録ホームページ」を参照ください。

長い年月をかけて育成された品種は育成者権及び当該産地の貴重な財産です。登録品種の種苗の無断増殖や海外への持ち出しは、種苗法で禁止されており、絶対にしないようお願いいたします。

尚、愛媛県・JA全農えひめで育成したかんきつ登録品種の利用は、愛媛県内に限定されています。県外・国外に流出しないよう、種苗の取り扱いについて、徹底をお願いします。



愛媛果試第28号（紅まどんな）

READERS通信

農の風景－応援！農業人⑲－さといもの栽培

「農業は達成感に満ちている」同世代の女性が、農業に生きがいを見つけ生き生きとしている様子に、私も元気が湧いてきました。「定年がなく、死ぬまで挑み続けられる」という人生の最高のステージで生きていけるすばらしさを農業に見いだすことが出来、羨ましい限りです！私も頑張ります‼
（松山市・PN：ねこ☆さん）

㊞応援農業人シリーズになって今回で19回目の掲載でしたが、女性は2人目の登場となりました。取材時の浅野さんですが、メイン写真の通り、終始笑顔でご対応いただきました！「ROOTS」の事を少し補足しますと、おちいまばり管内の農業女子グループで、女性農業者同士の横のつながりを作り、個々の資質向上や所得向上に向けた取り組みをしています。また、農業を始めたい女性の方を集め、農業体験ツアーも行っています。これからの浅野さんにも注目です！

NOW NOW COOKING

いつも美味しい料理を紹介していただき、ありがとうございます。「ピーマンのひんやりポタージュ」美味しそうなので、是非作ってみたいと思います。
（松山市・PN：K子さん）

㊞「ピーマンのひんやりポタージュ」どんな味か、気になりますね！私も食べたことないので挑戦してみようと思いました。

ピーマンの選び方・保存方法についてです。

・色鮮やかで皮に光沢があり、ヘタが新鮮で、実がふっくらしていて重く、肉厚なものを選びましょう。
・皮に張りのあるうちに食べましょう。
・空気穴を開けたポリ袋に入れて冷蔵庫に保存すれば、5～6日はもちます。
・適温は10℃前後。冷やしすぎると品質が落ちるので、野菜室で保存しましょう。

ふるさとESSAY 四国遍路のお寺から③

時には「本当に思っていることを正直に話す」ということが大切、というのは本当にそうだなと思います。大人になると、わからないことは恥ずかしいとか、かっこ悪いとか、感情以外にもいろいろ事情もあるし、全ての場面で出来るわけじゃないけど、わからないことはわからない、と正直に話し、ここぞという時に本当に思っていることを正直に話せる人が日々成長し、素敵な人になっていけるのかなと思います。私も「正直に話す」ということをいつも心に留めて過ごしていきたいと思います。（今治市・PN：胡春さん）

㊞白川蜜成さんは住職や執筆活動、講演会、だけでなく、各種SNSでも精力的に発信されています。最近投稿されていたInstagramでは、編み物が好きな小学生の娘さんが編んでくれたニット帽をかぶって投稿されていました。そちらも是非チェックしてみてください。
Instagram：@missei57
Threads：@missei57
Facebook：Missei Shirakawa

Topic News 「フレッシュ市部会」第29回総会

地産地消を通して地域とのつながりを大切にしていることが印象に残りました。地元の農畜産物を消費することが、生産者の支援や地域の活性化につながると感じました。
（今治市・PN：なーとくんさん）

㊞ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場などの直売所は、生産者と消費者をつなぎ、安心感を提供する重要な役割を担っていると思っています。生産者及び出荷会員の高齢化や減少、運営コストの上昇、消費者ニーズの多様化などの課題に、ＪＡグループとして直売所間連携を強化し、対応策を検討していこうと思っております。今後とも地産地消をよろしくお願いいたします！

お知らせ 読者名簿更新について

ＪＡ全農えひめ情報誌「あぐり～ど」は、愛媛県内ＪＡの役員（非常勤理事･監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

年間購読のご案内

月間技術情報誌「果樹園芸」
この一冊を読めば、愛媛の果樹の栽培技術・流通情報が丸わかり！
■年間購読料：4,320円
■お申し込みはＪＡ全農えひめホームページからどうぞ



今月のクイズ

今回のTopic Newsのタイトルで、下記に入る文字は何でしょうか？

愛媛さといも広域選果場
令和８年産さといも「〇〇〇〇」出荷スタート

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を５名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2026年11月16日（当日消印有効）

発　表

「あぐり～ど」12月号で発表します。

当選者発表

8-9月号の答えは「㊐農活動」でした。たくさんのお便りありがとうございました。
厳正な抽選の結果、次の５名の方に図書カード1,000円分をお送りします。

ファインさん（松山市）
みちこさん（松山市）
なかよしさん（四国中央市）
なしさん（松前町）
三好さん（四国中央市）

NOW NOW COOKING

今月の素材 押し麦



▶（右）押し麦のチヂミ風、（下）押し麦のアランチーニ、（左）押し麦のサラダ



指導／愛媛調理製菓専門学校　永野　佳那 先生

プチプチ食感が楽しめる健康食品
よく噛んで、じっくり味わおう

押し麦のサラダ

〈材料・４人分〉　※１人あたり約206kcal

	押し麦	120ｇ
	塩	少々
	茹でだこ	50ｇ
	海老（茹で）	50ｇ
	きゅうり	1/2本
	パプリカ（赤・黄）	各1/6個
	枝豆（茹で）	50ｇ
Ⓐ	わさび	小さじ１
Ⓐ	塩	小さじ1/8
Ⓐ	砂糖	小さじ１
Ⓐ	酢･醤油･オリーブ油	各大さじ2

〈作り方〉
①鍋に湯を沸かし、塩を入れ、押し麦を10～12分茹で、柔らかくなればザルにとり、水で洗う。
②たこ、海老、きゅうり、パプリカは、それぞれ７～８mm角に切る。
③枝豆をさやから出す。
④Ⓐをボウルで混ぜ合わせる。
⑤①～③をボウルで混ぜ、④を加えて和え、器に盛る。

押し麦のアランチーニ

〈材料・４人分〉　※１人あたり約316kcal

Ⓐ	米	１合
Ⓐ	押し麦	50ｇ
Ⓐ	水	１合分＋100cc
Ⓑ	ミートソース	150ｇ
Ⓑ	ピザ用チーズ	30ｇ
	塩・こしょう	少々
	ピザ用チーズ	適量
	薄力粉	適量
	卵	１個
	パン粉	１カップ
	油	適量

〈作り方〉
①Ⓐを合わせて、押し麦ご飯を炊く。
②①にⒷを混ぜ、塩･こしょうで味を調える。
③８等分に分け、中にピザ用チーズを入れて包んで丸める。
④薄力粉→とき卵→パン粉の順につけて、180℃の油できつね色になるまで揚げる。
※好みで、トマトソース（又はケチャップ）を添え、みじん切りパセリ、粉チーズを飾ってもよい。

押し麦のチヂミ風

〈材料・４人分〉　※１人あたり約279kcal

Ⓐ	米	１合
Ⓐ	押し麦	50ｇ
Ⓐ	水	１合分＋100cc
Ⓑ	片栗粉	40ｇ
Ⓑ	鶏ガラスープの素	小さじ１
Ⓑ	ピザ用チーズ	40ｇ
Ⓑ	卵	１個
Ⓑ	塩・こしょう	少々
Ⓒ	しらす	20ｇ
Ⓒ	青ねぎ（小口切り）	２～３本
Ⓓ	キムチ（刻む）	50ｇ
	ごま油	適量

〈作り方〉
①Ⓐを合わせて、押し麦ご飯を炊き、Ⓑを混ぜ合わせる。
②ボウルに半量ずつ分け、Ⓒ・Ⓓをそれぞれ混ぜ合わせる。
③フライパンにごま油をひき、円形で両面焼く（大きさや形はアレンジしてもOK）。



あぐり～ど
2026
10-11月号
No.1055
●発行／全農愛媛県本部　〒790-8555　松山市南堀端町2番地3　●編集人／大家　宏之
●編集部／総務課☎(089)948-5307　●印刷／コープ印刷㈱

Meat Selection

愛媛県産の厳選されたお肉

伊予牛「絹の味」



黒毛和牛肩ロース スライス【冷凍】
500g
ギフト対応できます
※個人宅配別途送料必要
8,100円(税込)



黒毛和牛モモ スライス【冷凍】
600g(300g×2)
6,700円(税込)



黒毛和牛モモ・バラ切落とし【冷凍】
700g(350g×2)
6,450円(税込)

ふれ愛・媛ポーク



豚ロース スライス【冷凍】
720g(360g×2)
※個人宅配別途送料必要
3,600円(税込)



豚ロース カツ【冷凍】
720g(120g×3)×2
3,500円(税込)



豚バラ切落とし【冷凍】
600g(200g×3)
3,300円(税込)

加工品バラエティ



愛媛県産牛肉使用
伊予牛「絹の味」ビーフカレー
180g×5
2,500円(税込)



愛媛県産豚肉使用
ふれ愛・媛ポーク カレー
160g×7
2,200円(税込)



愛媛県産豚肉使用
豚バラやわらか角煮
110g×3
2,250円(税込)



愛媛県産豚肉使用
豚ロース豚丼
140g×3
1,590円(税込)



愛媛県産豚肉使用
スパゲッティー用トマトミートソース
110g×6
1,980円(税込)



愛媛県産豚肉使用
味付豚ホルモンセット
塩味 140g×2
キムチ味 140g×2
1,790円(税込)



国産原料使用
農協ウインナー
100g×4
1,590円(税込)



国産原料使用
国産ポークウインナー
400g×2
1,590円(税込)

※伊予牛「絹の味」、ふれ愛・媛ポークの写真はイメージです。　※登載の商品は印刷の再現上、現品と色/柄などが若干異なる場合がございます。

全農 JA全農えひめ

ZENNOH_EHIME
「JA全農えひめ」Instagram
Follow Me!

EHIMENOSYOKU
「えひめの食」Instagram
Follow Me!

あぐり～どはWEBでも読めます
https://www.zennoh.or.jp/eh/about/information/